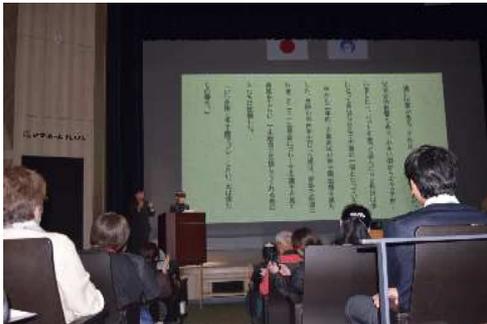


令和6年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名 (奄美市)

事業名	令和6年奄美市まなびフェスタ	実施時期	令和6年12月15日
趣旨又は目的	フェスタの開催を通して、体験・交流・探求したことを発表する機会を提供することにより、これまでの生涯学習によるまちづくりの成果と今後の奄美市を展望し、潤いと活力に満ちたまちづくりに寄与することを目的としている。		
参加者	約500名		
活動概要	<p>【オープニング】奄美市少年少女合唱団</p> <p>【第1部】開会式及び表彰式</p> <p>【第2部】みんなで輝かせよう！あまみっ子&あまみんちゅ ①島口による小・中学生の夢の発表 ②地元高校生がつくる学生団体「Annacoto」（アンナコト）の発表</p> <p>【第3部】みんなで考えよう！奄美の未来 公演「みんなが元気になるコミュニティをめざして」 ～新しい時代の地域社会を考える～ 講師：①鹿児島大学法文学部法経社会学科 教授 金子 満氏 ②(株)フルハークウィル取締役 元唐湊山の手町内会長 金子 陽飛氏</p>		
活動写真 [説明]	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>【オープニング】</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>【文化・地域づくり功労者表彰】</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>【夢の発表】</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>【学生団体「Annacoto」の発表】</p> </div> </div>		

令和6年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名 (宇検村)

事業名	学校巡回読書まつり	実施時期	令和6年10～11月
趣旨又は目的	本を身近に感じるとともに、本を通して世界観が広がり、本への興味関心が生まれ、読書が楽しいと感じる児童生徒を育成するために、広く村内の学校へ呼びかけ「読書まつり」を開催した。		
参加者	村内4校の児童生徒及び教職員 田検小 58名 久志小中 24名 名柄小中 13名 阿室校 22名 教職員 37名 計154名		
活動概要	<p>秋の読書週間に合わせ、村図書室の司書等が各学校を巡回し、村内4校において「読書まつり」を開催した。</p> <p>今回紹介した本は、日頃子どもたちが手に取らないジャンルの本を選び、クイズや唄、紙芝居そしてパネルシアターとさまざまな手法で読み聞かせを行い、子どもたちは笑ったり、喜んだりと楽しそうな時間を過ごすことができた。</p> <p>島外からの転勤で来られた教職員の先生方や山村留学等で来ている子どもたちは奄美に関連する話は、特に熱心に聞く姿が印象的だった。</p> <p>子どもたちからは「パネルシアターを初めて見て、音楽に合わせて物語を進めていくのが、新鮮でとても楽しかったです。」 「動物俳句が一番面白かったです。読書祭りじゃないと読まなかった本だったのでよかったです。」 また「『動物俳句遊び』を見て自分でも読んだら、他におもしろいのが見つかったのでうれしかったです。」などの感想の声がかれた。</p>		
活動写真 [説明]	<p>『読書祭り』の様子</p> 		

令和6年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

学校名 (宇検村立久志小中学校)

事業名	親子読書	実施時期	11月22日 (23日が日曜のため)
趣旨又は目的	<p>校内での子供同士や教職員との読書活動とは別に、保護者を引き込んだ家庭内での読書活動への取組を設定することで、更なる子供への読書喚起を図ることを目的としている。また「ノーメディアデー」の取組と関連を図ることにより、家庭でのテレビやインターネット等のメディア利用時間を減らし、親子でのふれあいの時間を増やせるようにしている。</p>		
参加者	全校児童生徒とその保護者		
活動概要	<p>11月23日の親子読書の日(うちどくの日)に合わせ、「うちどくカード」を配付し、子供が読んだ本の中で特に心に残ったものをイラストや感想にまとめる。また保護者からも子供の読書の様子や一緒に読んだ感想をコメントしてもらい、子供の読書を価値付けたり、親子での読書のよさを振り返ってもらったりしている。</p> <p>親子で作成した「うちどくカード」は、学校図書館に掲示をしている。それを互いに読み合う取組を実施することで、紹介された本の中から自分も読んでみようといった読書喚起を図っている。本取組により、親子の読書喚起を図ることができるようにしている。</p>		
<p>活動写真</p> <p>[説明]</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;">     </div> <p style="text-align: center;">思い思いの場所で、自分の好きな本を手にとって、読書に親しむ久志小中学生たち</p>		

令和6年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

学校名 (宇検村立阿室小中学校)

事業名	もちつき大会		実施時期	11月29日(金)
趣旨又は目的	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の方々と一緒に作ったもち米でもちをつき、収穫の喜びを味わわせる。 ○ 老人会の方々を招いて一緒にもちつきやしめ縄づくり見学をする中で、米作りに協力していただいたことへの感謝の気持ちと尊敬の念を養わせる。 ○ 地域の方々に昔の話を聞くことで、昔の暮らしや習慣、人々の思いなどに気持ちを寄せることができる。 			
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本校児童生徒 ○ 本校職員 ○ 保護者 ○ 地域住民 (老人会) 			
活動概要	<p>本校では、平成11年度に学校敷地内に田んぼを整備し、総合的な学習の時間のの中で、地域の指導者と、屋鈍・阿室・平田の3集落の老人会の協力の下、稲作活動を取り組んでおり、今年で25年目となる。子供たちが、「米作り」の体験活動を通して、生命のつながりの不思議に気付き、地域の人々と交流しながら、学ぶ楽しさを味わい、「米作り」の苦労や食することへの感謝の気持ちをもつことを目的としている。今年2月の「苗床づくり、種蒔き」から、4月の「田植え」、5月の「根かき」、6月の「藻取り、虫つぶし」と管理を続け、見事に大豊作となり、7月、無事に「稲刈り」し、「脱穀」したもち米を使って、お世話になった崎原3集落の老人会の皆様を招待しての「もちつき大会」である。(※ しめ縄づくりもあわせて行う。)</p> <p>稲作活動は、本校の取組である環境教育の一環でもあり、田んぼに棲む生物の観察や調査等も並行して取り組むなど、子供たちもこれまでの活動に一生懸命取り組んできた。もちつき大会は活動の締めくくりであり、本校の特色を生かした興味深い行事となっている。</p>			
活動写真 [説明]	 <p>地域の方々(老人会)とのもちつきの様子</p>		 <p>もちつきとあわせて行ったしめ縄づくり</p>	
	 <p>できたてのおもちを地域の方々に配る児童生徒</p>		 <p>もちつき終了後の昔遊び体験 (ナンコ)</p>	

令和6年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名 (宇検村)

事業名	やけうちっ子環境学習 世界自然遺産博士講座	実施時期	令和6年11月30日(土)
趣旨又は目的	<p>村内の児童生徒及び保護者等を対象に、「世界自然遺産登録」を軸に、奄美の自然や生物、歴史、伝統、文化等に関わる専門家を招へいし、様々な体験型の学びを行うことで、次世代の宇検村や奄美、ひいては日本、世界の持続可能な社会の創り手を育成するための環境教育プログラムである。また、子どもと共に、現代を担う保護者、一般の方々も学び、考え、行動し、表現及び発信する契機となることを目的とする。</p>		
参加者	<p>村内の小中学生・大人 19名 (小学生 14名・中学生 1名・大人 4名)</p>		
活動概要	<p>令和6年度は年5回の講座を開講予定。本講座は第4回目の講座となる。講師として、村内で猟師をされている辰島雅之氏、宇検村地域おこし協力隊のプライド・マツト氏を招へいし、宇検村生涯学習センター「元気の出る館」にて「宇検村の自然を生かした産業～山の豊かさを生かしたお仕事～」を開催した。今回の講座では、宇検村では普段からイノシシのお肉を食べる機会が多いが、どのようにして罠を仕掛け、イノシシを狩っているのかを実際に会場近くの広場で見せていただいた。イノシシは普段、山の中で過ごしているが主食であるシイの実が少なくなってしまうと畑まで下りてきてしまうということや、とっても頭がいいので、同じ罠や簡単に見える罠だとよけて通るということも教えていただいた。また、山の中には「獣道」と呼ばれる動物たちの足跡が残る道があるが、イノシシは自分の足跡をたどって帰ってくるので、猟師の方たちはそこに罠を仕掛けることが多いという。そのため、山の中では比較的歩きやすい獣道こそ危険かもしれないというお話を聞き、参加者たちは驚いていた。</p>		
活動写真 [説明]	<p>参加した子どもたちからは、「将来、罠をつくってみたいなあと思った」、「イノシシは思っていたよりも動きが速く、力が強いということを知ってびっくりした」という感想があった。</p> <div data-bbox="359 1303 949 1697">  <p>『狩猟歴約20年の辰島さんが地中に埋める「くくりなわ」の設置を実演』</p> </div> <div data-bbox="746 1646 1417 2087">  <p>参加した中学生は「難しく危険な仕事だと改めて知った。苦勞を見せない猟師の姿に、技術を極めた職人的なすごさを感じた。」と話していた。</p> </div>		

令和6年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名 (瀬戸内町)

事業名	第19回子ども島口・伝統芸能大会 きゅら島交流館	実施時期	11/9 (土) 9:00~12:00
趣旨又は目的	現在失われつつある島口・伝統芸能の普及と、島口を使わなくなった子どもたちに身近に感じる機会を設けるとともに、地域の人々との触れ合いの中でシマの素晴らしい文化や伝統を学び、郷土への関心や誇りを持つ心を育てることを目的に開催する。		
参加者	園児 7名 小学生138名 中学生 74名 高校生 5名 合計224名		
活動概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 古仁屋小 島唄 (永井島唄・三味線教室) 2. 童子八月踊り研究会 伝統芸能 (八月踊り) 3. 篠川小中学校子ども会 島唄・三味線 4. 阿木名小学校3・4年生 島唄 5. 古仁屋中学校 島口・島唄・八月踊り 6. 嘉鉄小子ども会 伝統芸能 (太鼓) 7. 古仁屋小4年生 (島口劇) 8. 与路小中 (島口劇) 9. 西阿室小 伝統芸能 (太鼓) 10. 伊子茂小中学校 島口劇 (帽子地藏) 11. 諸鈍小中学校 (島唄) 12. 池地小中 (島唄・三味線) 13. 油井小中学校 伝統芸能 (油井の豊年踊り等) 		
活動写真 [説明]			

令和6年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名 (龍郷町)

事業名	龍郷町PTA活動研究大会	実施時期	令和6年11月24日
趣旨又は目的	PTA活動の充実・発展を期するため、各単位PTA相互の連携を密にし、会員の意識の高揚と資質の向上に努める。特に、学校・家庭・地域社会との連携を密にし、家庭教育の機能を高め、地域活動の推進と会員相互の研修に努める。		
参加者	各単位PTA会員		
活動概要	町PTA会員の資質向上と各単位PTA活動の活性化、青少年の健全育成を図る目的で、今年度は県人権同和対策課より講師を招き、人権に関する講演を行った。		
活動写真 [説明]			

令和6年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名 (喜界町 1)

事業名	第2回島内駅伝競走大会	実施時期	令和6年11月10日
趣旨又は目的	町内の大きな行事の一つである島内駅伝競走大会を開催し、児童・生徒が選手として積極的に参加したり、沿道で応援したりすることによって、心身を鍛えると共に郷土を愛する心を育む機会とする。		
参加者	〈選手〉 小学生38名 中学生38名 高校生38名 一般18名 〈大会役員〉 71名 〈沿道の応援〉 各集落に多数		
活動概要	<ul style="list-style-type: none"> 各地区（9地区10チーム参加）から小学生・中学生・高校生・一般男女合計132名が参加し、島内を半周（北回り）する駅伝大会である。昨年度見直しを行い（コース等）、今回が第2回大会である。 当日は、沿道に、小学生・中学生・高校生を含めたくさんの町民が駆けつけ、島民こぞって応援し、大会を盛り上げた。 昨年度、少子化・過疎化に伴い、選手の確保が課題となっている地区もあったためコース等の見直しを行い、今年度は、9区間16.50km（北回りコース）で健脚を競った。 総合優勝、2位・3位表彰、Bクラス優勝、区間賞の他に、親子で参加した選手には、ファミリー賞を贈るなど、参加者が目標をもって取り組めるよう工夫している。 		
活動写真 [説明]	<div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> スタートの1区は、小学女子が担当 </div>		

令和6年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名 (喜界町 2)

事業名	喜界中学校 学校自由参観	実施時期	11月1日～7日
趣旨又は目的	鹿儿岛県「地域が育むかごしまの教育」県民週間に合わせて、本校の学校自由参観と学校行事を設定することによって、保護者や地域の方々との交流を行う。また、学校への興味・関心を高め、学校と地域とのよりよい環境の向上と連携を図る。		
参加者	1 学校自由参観 24人 2 学習発表会 87人 3 吹奏楽定期演奏会 約100人 4 小中合同音楽発表会 約80人、長寿者学級生23人		
活動概要	1 学校自由参観 (11月1日～7日) 2 学習発表会 (11月1日) 3 吹奏楽部定期演奏会 (11月3日) 4 小中合同音楽発表会 (兼長寿者学級学校訪問) 11月6日		
活動写真 [説明]	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>学校自由参観の案内ポスター</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>11/1 学習発表会 (1年生きかい学)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>11/3 吹奏楽部定期演奏会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>11/6 小中合同音楽発表会</p> </div> </div>		

令和6年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名（ 喜界町 3 ）

事業名	早町小 サンゴの石垣修復体験	実施時期	令和6年11月12日
趣旨又は目的	実際にサンゴの石垣を修復することで、サンゴと喜界島、自分たちの暮らしや自然環境の関りに興味・関心をもたせる。		
参加者	早町小学校5年生児童、喜界島サンゴ礁科学研究所員、喜界町企画観光課地域住民 他		
活動概要	喜界島サンゴ礁科学研究所員や地域住民の指導のもと、阿伝集落の崩れたサンゴの石垣の修復作業を体験することで、ふるさと喜界島の文化や環境に興味・関心を持つことができた。		
活動写真 [説明]	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>修復前の事前説明</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>修復作業</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>修復完了</p> </div>		

令和 6 年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名 (喜界町 4)

事業名	島ゆみたの学習	実施時期	1 1 月～ 2 月
趣旨又は目的	島ゆみたの学習をとおり、郷土に対する理解や愛情を深め、地域との交流を図る。		
参加者	喜界小学校 3 年生 各集落の地域の方		
活動概要	地域の方に島ゆみたの指導をしていただく。 校区内の 1 1 集落からそれぞれ 1 名ずつの指導者に来ていただき、子どもたちに丁寧に指導をしていただくとともに、地域との交流を図る。 学習したことを生かし、2 月の島ゆみた大会で発表する。		
活動写真 [説明]	 <p>総合的な学習の時間に、3 年生 4 3 人が各集落ごとに地域の方から島ゆみたの指導を受けている様子。</p>		

令和6年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名（ 徳之島町 ）

事業名	ネット依存講演会	実施時期	12月5日
趣旨又は目的	<p>現代社会において、インターネット依存は深刻な問題となりつつあり、多くの人々がインターネットやスマートフォンを過剰に使用することが日常生活に大きな影響を与えている。</p> <p>青少年においても過度な SNS 利用、ゲーム、動画閲覧、オンラインショッピングなど、日常生活におけるあらゆる活動が影響を及ぼしていると考えられる。</p> <p>地域社会全体で青少年がインターネットやデジタルデバイスを健全に活用できるよう支援し、ネット依存のリスクを理解させるとともに、適切な対策や予防法を広めることを目的とする。</p>		
参加者	教育関係者や保護者約40名		
活動概要	<p>主催：徳之島町青少年育成町民会議 共催：徳之島町教育委員会・徳之島町家庭教育支援チーム「つむぎたい」</p> <p>子どものネットリスク教育研究会副代表兼鹿児島県支部長戸高 成人先生をお招きし、「健康被害とメディアの危険な関係」～行動嗜癖を知っていますか～と題し、講演会を実施した。</p> <p>参加者の感想として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人が学び続ける必要、また、子どもにも理解させる必要を再確認した。 ・とても分かりやすく、自分に当てはまることが多くあり、考えさせられる講演会でした。 ・メディアとのかかわり方を誤ると取り返しのつかない、子どもが健康被害を受けることが分かった。 <p>などの感想があった。</p>		
活動写真 [説明]			

令和6年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名 (伊仙町)

事業名	伊仙町われんきゃ未来教育会 (人権標語・ポスター選考)	実施時期	8月～12月10日
趣旨又は目的	国内では、毎年12月4日から10日までを「人権週間」と定め、講演会の開催や街頭啓発など、全国的な啓発活動を展開し、このことの趣旨を踏まえ伊仙町においても人権週間にあわせ、人権標語とポスターを募集することで人権に対する意識を高め、命の尊さ・大切さや自己がかけがえのない存在であると同時に他人もかけがえのない存在であることを真に実感し、お互いの人権を尊重しあえるようにするとともに、広く町内に広報することによって、各学校、家庭、地域社会の人権意識の高揚を図ることを目的とします。		
参加者	町内小・中学生を対象		
活動概要	<p>募集期間 8月1日～10月14日</p> <p>選考会 11月6日</p> <p>展示 11月29日～12月11日</p> <p>内容</p> <p>12月4日から10日までは「人権週間」となり、当町においても人権週間の趣旨を踏まえ、町内小・中学校の児童生徒から人権標語とポスターを募集し、入選作品は住民向けの人権啓発活動並びに広報に活用。</p>		
活動写真 [説明]			

令和6年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名 (和泊町)

事業名	今帰仁村交流 (わらんちやヤンバル体験交流プロジェクト)	実施時期	12月7日
趣旨又は目的	今帰仁村・沖永良部島の児童生徒が相互交流活動を通じて、両町村の深い歴史のかかわりあいを学ぶ中で、互いの自然や生活、文化などを探訪し、豊かな感性やたくましい想像を養うことにより、将来の島村を担うたくましい児童生徒の涵養を目的とする。		
参加者	高校生 7名 中学生 3名 小学生 10名 大人 6名		
活動概要	12月26日～28日今帰仁村交流参加者の事前研修を行った。まず始めに、アイスブレイクとして、「ぐるぐる自己紹介」「漢字どれだけ知ってる？チーム戦」「新聞切り取りゲーム」を行い、チームの仲間との絆を深めた。その後民泊家庭に送る自己紹介シートの作成をした。午後は歴史民俗資料館の職員である伊地知裕仁氏に「なぜ？なに今帰仁村交流」と題し、講話をいただいた。沖永良部島と今帰仁村との交流の始まりや最近の交流について分かりやすい講話であった。その後交流の際に用いる名刺の作成及び、名刺の渡し方講座を行った。同性では渡しやすい反面、異性となると気恥ずかしさが勝ってしまう場面も見られたが、最後には顔を上げて渡すことができるようになっていた。研修の最後には、しおりを配布し、今帰仁村でのスケジュール、心構え、マナーについて確認した。		
活動写真 [説明]	 <p>[自己紹介シートの作成]</p>		
	 <p>[伊地知氏 講話]</p>		
	 <p>[名札の作成]</p>		
	 <p>[名札交換の練習]</p>		

令和6年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名 (与論町)

事業名	親子給食試食会	実施時期	11月7日(木)
趣旨又は目的	親子で一緒に給食を食べることで、親子の絆や給食への理解を深める。また、よりよい食生活の大切さに気づき今後の生活に活かしていく意欲を高めさせる。		
参加者	那間小学校 1年 児童 7人 保護者 8人 計 15人		
活動概要	親子で学校の話をしながら一緒に給食を食べることで、親子の絆や給食への理解を深める。 保護者が給食を食べるまでの流れや(放送委員会による献立紹介や食材一口メモが放送されている)どういったメニューを食べているかを知ることによって家庭での会話のきっかけが増えたり、自宅では食べない食材を食べている姿を見て子どもの新たな一面を知ることにも出来た。 ◎ 給食メニュー ◎ 秋刀魚のかぼす煮 インゲンのごま和え 麦ご飯 小松菜の味噌汁		
活動写真 [説明]	 <p style="text-align: center;">【 輪になって和やかに試食する様子 】</p>		

令和6年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名（与論町）

事業名	令和6年度 お話し会	実施時期	令和6年11月20日
趣旨又は目的	与論町立図書館・茶花小読み聞かせグループ「芭蕉布」の方に与論に関わるお話をして頂くことで、ユンヌフトゥバや与論の伝統、文化、歴史自然について興味をもつ。		
参加者	<input type="radio"/> 全児童・職員 <input type="radio"/> 与論町立図書館 <input type="radio"/> 茶花小読み聞かせグループ「芭蕉布」		
活動概要	<p>【概要】 今年度「芭蕉布」は「人権について」の本を読み聞かせされた後、戦争中の与論島の状況・様子を動画で流しながら「さとうきび畑」の歌を与論島在住のオペラ歌手・加藤ゆう子さんが生で歌われた。子供たちは「さとうきび畑」の歌詞を改めてよく聞きながら、戦争中の与論島のことに思いを馳せていた。</p> <p>【活動の流れ】 1 講師の紹介 2 「与論町立図書館」による人形劇 3 「芭蕉布」による読み聞かせ、歌「サトウキビ畑」 4 校長あいさつ 5 おわりの言葉</p>		
活動写真 [説明]	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>児童による「はじめの言葉」</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>与論町立図書館・人形劇</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>「芭蕉布」読み聞かせ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>加藤さんによる歌</p> </div> </div>		